

基本情報



【年齢】
52歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府八尾市
【前職】
児童養護施設事務局長
【活動時期】
R4.4~

協力隊に応募したきっかけ

海外のリゾートが大好きで、ハワイやバリ島などよく出かけていました。コロナ前までは海外に移住を考えていましたが、コロナがきっかけで日本の良さに気が付き、子どもの進学を期に高知を知り、偶然、高知市地域おこし協力隊の募集チラシを目にして今は、高知市にいます。

今後の抱負・任期後の目標

この任務に就き私が感じた事は、地域で活躍されている人を深く知ることで、人の温かさや地域の魅力がよく分かるということです。今後、私が実践したいのは、人口減少はもう止めれない中、今の流行など周りと同じことをしていても一時的な活性にしかありません、私は地域の声を拾い上げたうえで、ココでしか無い、この場所でしか出来ない、まだまだ眠っているオンリーワンの資源を掘り起こし、地域おこし協力隊ならではの発信の仕方でも長浜・御豊瀬・浦戸地域の皆さんと一緒に活性していきたいと思っています。「地域作りは人作り」この地域の皆さんとなら叶うような気がします！

活動内容

●地域おこし学校「こうちみませ楽舎」の企画・運営

こうちみませ楽舎とは、学びと実践を通して地域おこしを行う場所で、今年度はプレミアム教室と通常教室を開校しています。私は、プレミアム教室では受講生として、通常教室ではスタッフとして参加しています。

また、御豊瀬にある干物屋さんを講師に迎え、高知大学野生生物研究会の皆さん協力のもと、特別教室の開催を企画しました。

また、みませ楽舎の事をもっと知って頂きたいと思い、地域を飛び出し高知大学の黒潮祭やイオンモール高知のSDGs イベントなどに参加し、PRしてきました。



●広報紙や・SNSなどによる情報発信

SNSの発信の他に紙媒体の広報紙「新・里海かわら版」や「協力隊なにしゅう」を定期的に発行しています。地域にはお年寄りも多く、紙媒体での告知は重要です。また、直接渡すことにより、会話も広がり、住民との距離が近くなりました。特にVOL.7の取材を通して地域の方々の思いや、優しさに触れる事ができ、とても貴重な体験をさせて頂きました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

高知市地域活性推進課（メールアドレス）kc-011700@city.kochi.lg.jp
（電話番号）088-823-8813

【活動の様子を発信している
SNS・ブログなど】



高知市HP



Instagram



note



Twitter